

まわりみち

2024 July no.20



表紙絵 活塾亭ぬり江

-Contents-

塾長の活算数講座

活ママの教えてください？ 算数編

大人が読みふける児童文学⑪『ハイジ』



まわりみち

松江算数活塾通信 7月下旬号
2024年7月15日発行 vol.20(毎月2回発行)

発行・編集／松江算数活塾
〒690-0883 松江市北田町82-4
TEL 0852-67-8005 <https://katsujuku.net>

れ、私もハイジとひとつになって同じ気持ちを味わいました。

病気になるたハイジは、やさしいお医者様の配慮もあって、アルムへ帰ることになりました。どれだけのうれしかったことでしょう。アルムに帰ったハイジは、ペーターのおばあさんのところへとんで行きます。ハイジが歌の本を読んで聞かせる、目の見えないおばあさんは幸福感に包まれ涙を流します。若い頃の出来事から偏屈になっていたおじいさんも、ハイジと一緒にまた教会へ足を運ぶようになります。ハイジに文字を読むことを



教えてくれたのも、神さまを信じることを教えてくれたのも、クララのおばあさまでした。ハイジを理解し支えてくれるクララのおばあさまの存在の大きさが深く心に残りました。
そして翌年には、フランクフルトからクララやおばあさまたちがアルムへやって来ます。そこで起きた感動の出来事は、皆さんもすでにご存知のことと思います。

（『ハイジ』上下 ヨハンナ・シュペリ作 上田真而子訳 岩波少年文庫 小学4・5年以上）
児童文学愛好家 天野和子



松江算数活塾ご案内



◀ <https://katsujuku.net>



◀ 算数・落語スケジュール



◀ Instagram

開業一周年

昨年七月九日、テクノアークしまねにおいて大人活塾を開催しました。松江算数活塾はそこで産声をあげたわけですが、その時は大雨で、予定して下さったのにお越しいただけなお客様が何人かいらつしやいました。そして、今年、同じ七月九日、また記録的な大雨に見舞われました。皆様のところは大丈夫でしたか？被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

タラメにするつもりはありませんが、何よりも、お客様が集まっていたく経営能力が欠けていました。今も、特に算数教室は、積極的な宣伝をしておりますが、それも一年続き、途中退会もないことに、喜びと、ちよつぴりの自信を感じています。

松江算数活塾をわざわざ選ぶ生徒です。心構えが違います。ファーストメンバーの生徒は、四月に入会の下学年に対して、「ここは答えを言うところじゃないんだよ」「考えるときには、考えるための準備が必要なんだよ」と言ってから説明を始めるほどです。もうすつかり活塾マ

インドがしみこんでいます。松江算数活塾の算数は、学校で取り扱っている算数とは大きく異なります。「できる、わかる、楽しい」だけでは通用しません。「わからない、困った」をぐらなないと、その先にある味わい深い楽しさに到達しないのです。

先月の算数オリンピックジュニア部門では正答率0%の問題も含まれるほどの難問ぞろいに涙を流した生徒もいました。勝ち負けで言えば大敗でしたが、惨めな負けではありません。たくましく来年を、そして、もつと先を見つめる姿に確かな希望が見えました。思考力の花ひらくときを常にイメージして、二年目を突き進んでまいります。

(川上宜久)

大人が読みふける児童文学⑱

ハイジ



アルプスの少女ハイジの物語ならよく知っている、と思い込んでいたのです。子どもの頃からテレビで親しんだ「ハイジ」、あのアニメは今考えても名作でした。その原作をまだ読んでいないことに気づき、完訳本を手にとったのは最近の事です。アニメの愛らしいハイジの姿と一緒につかしい物語が思い出されました。それだけでなく、自分が年を重ねたせいもあるのでしょうか、あらずじは知っていた「ハイジ」が、これまでよりもずつと深い物語として、新しい感動を運んでくれたのです。完訳本を読むということはこういうことかと改めて思った体験でした。

親を亡くしたハイジは、アルムの山小屋に住むおじいさんに預けられます。ハイジは本当に天真爛漫。おじいさんやペーター、動物たちと心を通わせながら、大自然の中ですくすくと育っていきます。ところが突然ハイジはフランクフルトのお屋敷に連れて行かれ、病弱で足の悪いクララお嬢さまのお相手役としてくらすこととなります。クララやゼーゼマン氏は喜んでくれますが、ロッテンマイヤーさんには厳しく注意される毎日。自由に外へも出られない生活がハイジに合うはずがありません。ハイジはアルムに帰りたくてたまらないのに、夢遊病になってしまいうらい自分の気持ちを押しさこんでしまいます。自分がアルムに帰ってしまえば、今では大事な存在になったクララやクララのおばあさまたちが悲しむことを、よくわかっているのです。それでもアルムの大自然と大好きなおじいさんが恋しいのです。会えない間に、自分を待っているペーターのおばあさんは死んでしまうかもしれません。完訳本ではこのハイジの葛藤が丁寧に書か